

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成22年5月20日 (2010.5.20)

【公開番号】特開2008-295677(P2008-295677A)  
 【公開日】平成20年12月11日 (2008.12.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-049  
 【出願番号】特願2007-144242(P2007-144242)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月1日 (2010.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、  
 前記遊技領域に向けて遊技球を打ち込む発射装置と、  
 前記発射装置による遊技球の打ち込みを指示する操作手段と、  
 前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、  
 装飾図柄の変動表示を含む演出表示が行われる演出表示装置と、  
 前記変動表示のパターンである複数の変動パターンを記憶する変動情報記憶手段と、  
 前記遊技領域に設けられ、遊技球を受け入れ困難な閉状態と当該閉状態よりも遊技球を受け入れ容易な開状態とに変化可能な特別入賞口と、  
 少なくとも前方から視認可能な役物演出空間と、  
 前記役物演出空間内で自在に移動可能な飛行部材と、  
 前記役物演出空間において前記飛行部材を飛行状態とする空気の流れを作り出す送風手段と、  
 前記送風手段からの空気を冷却することが可能な吸放熱手段と、  
 前記始動口への遊技球の入球があったか否かの判断を行う始動判断手段、  
 前記始動判断手段により遊技球の入球が判断されることに基づき、内部的な抽選を行う抽選手段、及び  
 前記抽選手段による抽選に当選すると、前記特別入賞口を開閉動作させ特別遊技を実行する特別遊技実行手段、  
 を少なくとも有する主制御手段と、  
 前記主制御手段に配線接続され、  
 前記抽選手段による抽選結果に応じ、前記変動情報記憶手段から読み出される変動パターンに基づく演出表示を、前記演出表示装置を介して行う演出表示制御手段、及び  
 前記送風手段を制御することによって前記飛行部材を遠隔コントロール可能であると共に、前記吸放熱手段にて前記送風手段からの空気を冷却し、前記飛行部材を冷却可能な送風制御手段、

を少なくとも有する副制御手段と  
を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記送風手段は、少なくとも、  
空気の流れを作り出すファン部と、  
前記ファン部からの空気を前記役物演出空間へ導き、当該役物演出空間内の上昇気流を  
作り出す略筒状の風導部とを有し、  
前記送風制御手段は、前記風導部にて作り出される上昇気流により前記飛行部材を遠隔  
コントロールする  
請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記役物演出空間において前記上昇気流の発生位置を移動させるために、当該発生位置  
に対応する複数の流路を有する風導部の当該流路に合わせて前記ファン部を移動させる移  
動手段を備え、  
前記送風制御手段は、  
前記移動手段を介し前記上昇気流の発生位置を制御することで、前記役物演出空間にお  
ける前記飛行部材を水平方向に遠隔コントロール可能である  
請求項 2 に記載の遊技機。